

2026年 7月11日(土) - 9月23日(水・祝)

ガレの陶芸Ⅱ 奇想と幻想の造形世界



フランス、アール・ヌーヴォーの巨匠
エミール・ガレの陶芸を
紹介する展覧会です

ケラモン
茨城県陶芸美術館
教育普及キャラクター



19世紀後半のフランスで活躍したエミール・ガレ(1846-1904)は、ガラス、陶芸、木工家具を製造・販売するガレ商会を率いて、自社の作品を万国博覧会等で発表し、世界的に高い評価を受けました。実業家でもあり芸術家でもあるガレは、アール・ヌーヴォーを牽引した代表的な人物です。本展はガレの業績の中でも陶芸作品に焦点をあて、約120点の作品からその展開と魅力を紹介する展覧会です。

みどころ

ガレが芸術としての陶芸を追求し、独自の表現に至った、創造の軌跡がわかります！

◆アートとしての陶芸を追求したガレ

ガレは高級陶器やガラスを扱う実業家としてキャリアをスタートし、次第に作品に独創的で幻想的な世界観や思想を込めることで、芸術としての陶芸やガラスを追求しました。19世紀末のフランスでは、産業製品に芸術性を求める動きが高まっており、ガレはそれを達成した第一人者として高い評価を受けたのです。

◆日本美術や植物、昆虫をモチーフにした、独創的でユニークな作品

ガレの作品には、日本美術に由来する絵柄、外来の植物、昆虫やカエルの姿など、多彩なモチーフが登場します。モチーフの選択や、それらの意表をつく組み合わせ、独創的な作品の絵柄やフォルムなど、ガレの陶芸作品の幻想的でユニークな表現が見どころです。

本展では、ガレの芸術表現の軌跡を、初期の作品から陶芸表現の円熟期である1880年代後半の作品を通して紹介します！


全点新作で紹介する、第二弾！

当館では2020年に「ガレの陶芸展」を開催しています。今回はすべて前回とは異なる、計121点の作品を紹介する第二弾です。ガレ商会のロングセラーだった「猫形置物」や、『北斎漫画』を引用した作品、万博出品作など、今回ならではの貴重な作品も見どころです！



▼関連催事・イベント情報は最後のページに！

開催概要

展覧会名	ガレの陶芸Ⅱ - 奇想と幻想の造形世界	展覧会情報▶ 
会 期	2026年7月11日(土)～9月23日(水・祝)	
会 場	茨城県陶芸美術館 地下1階 企画展示室	
主 催	茨城県陶芸美術館	
後 援	笠間市、朝日新聞水戸総局、茨城新聞社、NHK水戸放送局、産経新聞社水戸支局、東京新聞つくば支局、毎日新聞水戸支局、読売新聞水戸支局、LuckyFM茨城放送	
開館時間	9時30分～17時(入場は16時30分まで)	
休 館 日	毎週月曜日(ただし、7月20日、9月21日は開館)、7月21日(火)	
観 覧 料	一般 950(770)円 満70歳以上 470(380)円 高校生等 710(590)円 小中生 360(290)円 ※()内は20名以上の団体料金。 右記の土曜日は高校生以下無料(7月11日、18日、8月29日、9月5日、12日、19日) ※9月15日(火)～9月21日(月・祝)は満70歳以上の方無料。	

【広報文1 (49字)】

アール・ヌーヴォーの巨匠エミール・ガレの貴重な陶芸作品など121点を通して、その創造の軌跡に迫ります。

【広報文2 (105字)】

アール・ヌーヴォーの巨匠エミール・ガレの貴重な陶芸作品など121点を通して、その創造の軌跡に迫る展覧会の第二弾です。日本美術や昆虫、植物をモチーフに独自の幻想世界をあらわしたガレの陶芸のユニークな魅力を紹介します。

【広報文3 (159字)】

アール・ヌーヴォーの巨匠エミール・ガレの貴重な陶芸作品など121点を通して、その創造の軌跡に迫る展覧会の第二弾です。ガレが日本美術などの影響を受けながら、自然主義や象徴主義と言われる独自の造形世界へとどのように作風を発展させていったのかを、ガレが大きな情熱を傾けて制作に取り組んだ、ユニークな陶芸作品の数々から紹介します。

プレスプレビューのお知らせ

7月9日(木)13時00分より **プレスプレビュー**を行います。

*7月9日(木)は14時より開会式・内覧会を予定しています。

出品作品画像

下記の作品画像は広報担当のe-mailアドレスまでご連絡いただけましたらデータをお送りします。
 使用の際には作品キャプション(収蔵を含む)併記してください。
以下に加えてポスター・チラシ掲載の作品画像も提供可能です。



【作品キャプション】

- 1 エミール・ガレ 置物 猫形 1860年代 個人蔵
 - 2 エミール・ガレ 蓋付ビッチャー オウム形 1874年 個人蔵
 - 3 エミール・ガレ 壁掛花器 扇形 1882-84年 個人蔵
 - 4 ガレ＝レーヌメール 置物 ブルドック形 1860年代 個人蔵
 - 5 エミール・ガレ 蓋物 虫形 1889年頃 個人蔵
 - 6 エミール・ガレ 鉢 蜻蛉文 1889年 個人蔵
 - 7 エミール・ガレ 花器 フランス菊形 1880-85年 個人蔵
 - 8 エミール・ガレ 壺 山水画文 1880年代 個人蔵
 - 9 エミール・ガレ 聖水盤 ロレーヌ十字形 1876年頃 個人蔵
 - 10 エミール・ガレ 小物入れ 怪獣形 1878-80年頃 個人蔵
 - 11 エミール・ガレ 壺 海文 1889年 個人蔵
 - 12 エミール・ガレ 花器 海文 1889年 個人蔵
- (※年号はデザイン年)



万博出品モデル

とは…

ガレにとって、万国博覧会は、新しい技術や表現の作品を発表する非常に重要な場でした。万国博物館の出品を通して、注文を得て、同じデザインの作品を制作し納品することもありました。上記3つの作品は、記録写真などから、同じ形、同じ絵柄の作品が、1989年のパリ万国博覧会に出品されていたことが判明するものです。

関連行事

展覧会と併せて美術館を楽しめる企画や、夏休み子どもたちが体験できるコーナー、美術館のある笠間市を楽しめるスタンプラリーなど、多くのイベントを開催します！

クロストーク 9/20(日)

クロストーク「ナンシーとその近郊、ガレの陶芸制作の現場から」

ガレ研究の専門家である山根郁信氏と担当学芸員が、ガレの活動拠点ナンシーやその近郊の豊富な写真を交えながら、ガレの陶芸制作の背景を商会します。

講師：山根郁信氏(美術史家) 聞き手：名村実和子(当館主任学芸員)

日時：9月20日(日)13:30~15:00 会場：当館1階 多目的ホール

参加費：無料 (要企画展観覧券)

予約優先
定員 90名
予約はこちら ▶
(受付7/1~)



ケラモンの ワンダー ルーム♪

ケラモンのワンダールーム

ケラモンと一緒に、作って、触って、調べて、美術館を楽しもう！

大人も子どもも楽しめる体験コーナーです。

ガレの陶芸Ⅱに関連する内容もあるよ！

日時：7月11日(土)~9月23日(水・祝) ※休館日を除く

各日9:30 ~ 16:30終了

参加費：無料 (要企画展観覧券)

ワンダー
ルームの
詳細は
こちら ▶



ケラモンの おはなしの へや

ケラモンのおはなしのへや+(プラス)

読み聞かせ+工作も楽しめる、子どもから大人まで参加できる会です。

日時：8月22日(土) 14:00 ~ 14:45

参加費：無料 (要企画展観覧券)



かさま発見！ スタンプラリー Ⅶ

かさま発見！スタンプラリーⅦ

笠間市内のポイントをまわるとすてきな景品が！スタンプ用紙は各ポイントで配布、および右記の二次元コードからダウンロードできます。

期間：7月18日(土)~8月30日(日)

詳細と
用紙の
ダウンロード
はこちら ▶



★つくば美術館土曜講座

「ガレの陶芸の造形世界について」(担当学芸員による講演)

日時：7月25日(土) 13:30~15:00

会場：つくば美術館 2階講座室 ※詳しくはつくば美術館ウェブサイトをご覧ください。

★茨城県立図書館講座

「ガレの陶芸、ナンシーの風景を交えて」(担当学芸員による講演)

日時：8月8日(土) 10:00~11:30

会場：茨城県立図書館 3階会議室 ※詳しくは茨城県立図書館にお問い合わせください。

問い合わせ先

茨城県陶芸美術館 〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345(笠間芸術の森公園内)

TEL:0296-70-0011 FAX:0296-70-0012

展覧会担当:学芸課

主任学芸員 名村実和子

主任学芸主事 岩井基生

e-mail:namura.miwako@post.ibk.ed.jp

e-mail:iwai.motoki@post.ibk.ed.jp

広報担当:企画管理課

主任学芸主事 塚田 巧

e-mail:kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp



TOUBIKASAMA